

しなぽりふ

2017
vol.6
NALIF Report

会長の あいさつ

2月に図書館協議会があり出席しました。図書館とは、昔は本の貸出だけを行う場所だと思っていました。現在では職員が企画提案し、市民に声をかけ、図書館に足を運んでもらい、楽しみ、経験してもらおうように運営されています。友の会「なりふ」では、夏に新発田の新図書館の視察研修を予定して、皆様の参加を待っています。秋には古本市を行う予定です。今年もいろいろ提案し、楽しんでいければいいなと思っています。

恩田里士

NAGAOKA LIBRARY FRIENDS

活動紹介 1

南魚沼市図書館 視察

図書館友の会では、毎年県内の図書館へ視察に出かけており、昨年は6月23日に南魚沼市図書館へ行きま

した。2014年6月にオープンしたこの図書館は、駅前のショッピングセンターとつながっていて、誰でも気軽に利用することができ、市民と読書の距離を縮める機能を果たしています。また、図書館利用のたびに、周辺商店街のポイントカードのポイントが貯まる仕組みを取り入れるなどして、商業施設との連携を深めたり、

活動紹介 2

なりふ古本市

会場の準備も終わり、見回すと空きがあり、今少し出店者が多いと、売り買いの掛け声が飛び交う賑わいのある古本市になるのかなあ……。

でも、入り口前には大勢の人だけだ！開場を待ち

切れず入場する方々があり、会場の雰囲気が一気に盛り上がり、本の市場通りになりました。

本を通じて、思い出話、家族の事、私生活の話題や、施設の方が入居者の喜びそうな本の相談など、普段聞けない声を知り有意義な一時でした。今度は、皆様の

ご参加をお待ちいたしております。
吉野治郎



10月10日 古本市



える視点が重要です。

そして、建築というハッキリと下の面影が、利便性に大きく影響するということも実感しました。ソフト面は、そのときどきの創意工夫で変えることができますが、建物は簡単に建て替えることはできません。どうしたら市民に図書館を快適に利用してもらえるか、市民をうまく図書館へと導く構造や仕組みを考える必要があります。そのためには、先見かつ長期的な視野や市民の声、デザイナーなどの専門知識の活用など、幅広い知見に立ち貪欲に考えを取り入れる姿勢が大切です。

高木秀俊